



経営支援員と二人三脚



61人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

作り手の思いを込め パンの付加価値を高める

パン職人として積み上げてきた経験を生かし、今から2年前、独立創業を志しましたが、開業する場所も決まっていないう状態から手を付けていか分ならず、藁をもつかむ思いで近くにある京商の洛南支部(現洛南ビジネスサポートデスク)を訪ねました。事業計画書の作成など、初めて経験することばかり。経営支援員と相談を続ける中で、「パンの価値を高めたい」という気持ちや考えを落とし込むだけでなく、私たちがターゲットとする安心・安全な食材に関心のある子育て世代や、市販のパンに飽き足らない主婦層に向けて、どんなメニューをどれくらい

の価格で提供するのか具体的な数字として、2019年12月、1年間の準備期間を経て、伏見に店をオープンしました。数多くの

適切な補助金支援で 感染症対策を万全に

表すことで、当店の強みの見直しや差別化の方法を考えるきっかけになりました。店舗選びについても、当初は観光地などを視野に入れていましたが、経営支援員から「地域に埋もれたニーズを掘り起こしては？」というアドバイスをもらい、遠方にお住まいの方にも、わざわざ足を運んでもらえるような店を目指そうと考えました。ものづくりへの思いと経営者としての視点をうまく切り分け、より現実性のあるプランを考えることができたと思います。

パン店がひしめき合う中、「こんな店を待っていた！」という声が寄せられるなど、たくさんのお客様にお越しいただいています。開業早々、新型コロナウイルス感染症が拡大しましたが、京商の支援でコロナ関連の補助金を活用し、売場を仕切るアクリル板やパンを陳列するショーケースを購入するなど、感染症対策を万全にすることで影響を最小限に抑えることができました。また、経営支援員の後押しもあり、以前から考えていたパンの全国通販に取り組みために、新たな補助金を活用してオンラインショップの準備を始めています。まだまだ事業はスタートしたばかりですが、自分たちの思いを大切にしながら、安全・安心にこだわったパンをこれからも作り続けたいと思います。

どんな些細なことでも、親身になって相談に応じてくれるのが京商の魅力。創業前からずっと相談していた経営支援員が異動したときも、私たちの思いや抱えている課題について後任の方にしっかりと引き継がれ、コロナ関連の補助金支援など以前と変わらないサポートをしてもらいました。

事業計画書の作成を 強みの見直しにつなげる



洛西 BSD 鈴木支援員
店主 藤井 仁徳さん
ひとみさん
洛南 BSD 伊澤支援員

企業情報
UN JOUR (アンジュール)
〔代表〕藤井 仁徳
〔住所〕京都市伏見区銀座町4丁目290-2
〔TEL〕075-203-1195



午後には商品が売り切れるという人気のパン店。旬の素材や安心・安全にこだわった素材の味わいが引き立つ珠玉のメニューを用意。春菊の歯ごたえがたまらない季節のエピ、ドライいちごと有機レモンの取り合わせが絶妙な冬フリユイなど、限定メニューが人気を集めている。